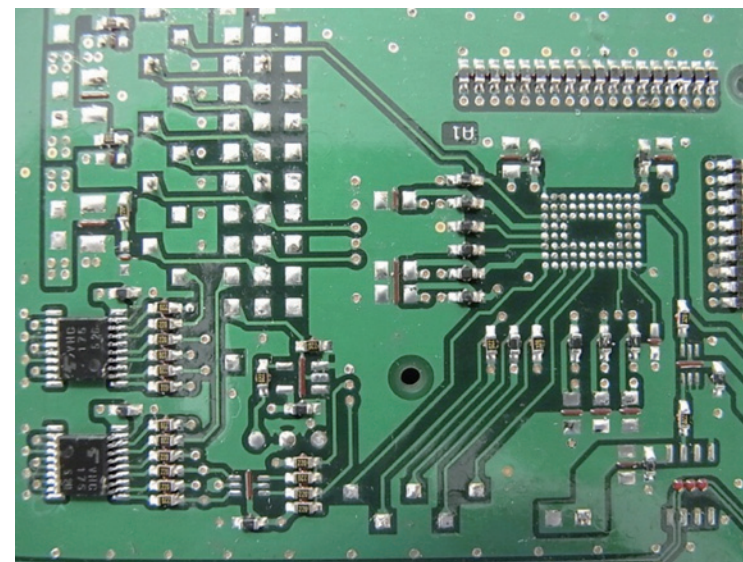


高度化する顧客のニーズに応え続ける 基板実装技術



頭を悩ませていた高密度・大型基板へのハンダ付けを、新たに導入した噴流槽で解決し、九州でも数少ない技術確立しました。

顧客の笑顔と社員の笑顔があふれる会社でありたい

プ リント基板にチップ部品やリード部品を搭載してハンダ付けし、実装基板の製作を行うエミオテクノロジー。

顧客である大手電子機器製造メーカーが新たに開発したLSI（大規模集積回路）のエージング基板へのハンダ付けに頭を悩ませていました。

「チップ部品だけのハンダ付けであれば、熱を加えてハンダを溶かしてハンダ付けするリフロー炉という設備で行えるのでまったく問題がないんです。しかし、エージング基板には多くのICソケットとチップ部品を搭載するため、リフロー炉と噴流槽という設備を併用してハンダ付けしなければならないんです。

この噴流槽、噴水のように湧き出る溶けたハンダの上を基板が通過することでハンダ付けを行うのですが、不良品が多発してまともに生産できる状態ではなかったんです。対応している基板の大きさも横幅25cmまでと限定されていました」

チ ップ部品やICソケットが混在する基板へのハンダ付け品質をなんとかしても向上させなければならぬ。そう決意した同社は、新たな噴流式ハンダ槽の導入に踏み切ります。

「これまで使っていた噴流槽は簡易式のものであったこともあり、ショートが多発していたのですが、新しい噴流槽ではこれが激減。基板1枚あたり7時間かかっていた修正作業がほとんどなくなり、作業効率が大幅に向上しました。横幅40cmの基板にも対応できるようになったんです」

ものづくり補助金活用 ここがポイント



大型基板対応噴流式ハンダ槽導入で 製品の品質と作業効率が大幅に向上

コンベア速度や予熱温度など実験を繰り返した上で、既存設備では不可能と判断し、新たな噴流槽を導入。品質の向上とともに、コスト削減、納期短縮を実現しました。

精度の高い基板のハンダ付けができ、修正作業や検査のロス時間も解消しました。



「噴

流槽とリフロー炉を併用する大型基板を実装できる会社は九州ではほとんどありませんし、大型基板の引き合いも増えています。

今回、確かな技術確立することができたので、この強みを武器に顧客の信頼を確保して、受注の拡大を図っています。

きたいですね。

また、社名の由来の一つでもあるお客様の笑み（えみ）をモットーに、従業員の笑顔も大切にしながら、地元日向を盛り上げていきたいと思っています」

Q1 他社との差別化は？

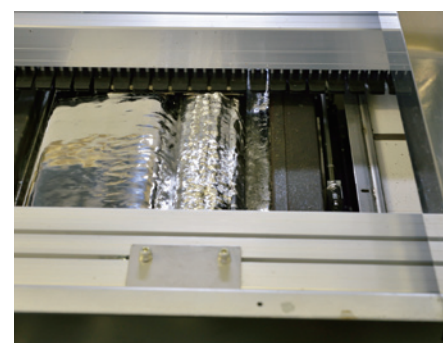
A 大型基板が実装できる会社は九州地区には少ないため、他社との大きな差別化が図られました。現在、大型基板市場の開拓を進めています。

Q2 従業員はどれくらいいるのですか？

A 全体で約50名ほどいます。そのうち約70%は女性社員です。地元の日向・延岡地区から採用しています。

Q3 今後の展望は？

A 基板には様々な種類がありますが、エージング基板の市場規模だけでも年間数億円と想定できます。これから5年後には実装基板全体で1億円近い売上を見込んでいます。



〈代表取締役社長〉

石田 恭一
いしだ きょういち

【座右の銘】
挑 戦

Case 16 プリント基板実装・電子機器の組立、調整、検査
株式会社 エミオテクノロジー

〒883-0067 宮崎県日向市亀崎東1丁目34番地 TEL.0982-56-1436

